

公益社団法人青少年健康センター 平成 28 年度事業報告

1. 法人の基本情報

(1) 法人の概要

① 法人の目的

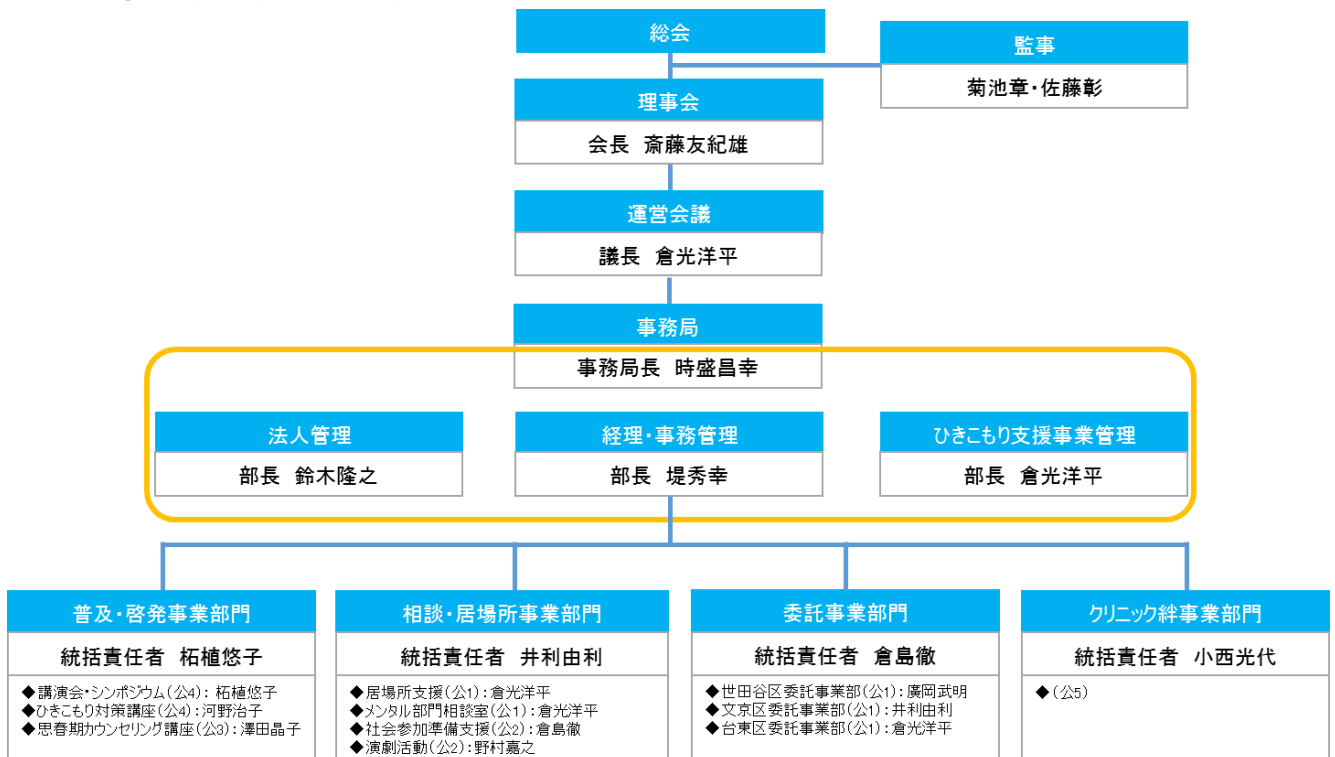
公益社団法人青少年健康センターは「青少年問題についての調査研究及び知識の普及啓発を行うとともに、精神的不適応等青少年の行動上の問題に対し適切な相談指導を実施し、もって青少年の健全育成と公共の福祉増進に寄与すること」を目的としております。(定款第 1 章 第 3 条)

② 業務内容

当法人は、定款第 1 章 第 3 条の目的を達成するために以下の業務を行います。

- i) ひきこもり等生きづらさを抱える若者への相談・居場所支援事業(公1、公2)
- ii) ひきこもり等生きづらさを抱える若者に関する知識の普及啓発を目的とする事業(公3、公4)
- iii) 若者の自殺予防を図る無料の電話相談「クリニック絆」事業(公5)

③ 組織図(2017/03/31)



(2) 役員の状況

公益社団法人 青少年健康センター

平成 28 年度 役員名簿

役職名	氏名	職業等	備考
理事	齋藤友紀雄	日本自殺予防学会理事長	非常勤(重任)
	関川俊男	関川情操教育研究所長	非常勤(重任)
	近藤 卓	山陽学園大学教授	非常勤(重任)
	藤堂宗継	医療法人社団雄心会山崎病院	非常勤(重任)
	倉本英彦	医療法人社団北の丸会理事長	非常勤(重任)
	岩佐壽夫	家庭ケースワーク研究所長	非常勤(重任)
	井利由利	公益社団法人青少年健康センター 茗荷谷クラブ・チーフスタッフ	非常勤(重任)
	時盛昌幸	公益社団法人青少年健康センター 事務局長	非常勤(新任)
監事	菊池 章	医療法人白翔会浦和神経サナトリウム院長	非常勤(重任)
	佐藤 彰	元千代田化工建設(株)	非常勤(新任)
参与	齋藤 環	筑波大学教授	非常勤(重任)
	中島聡美	福島県立医科大学 特命准教授	非常勤(重任)

2. 事業の説明

平成 28 年度(自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 29 年 3 月 31 日)の事業報告を下記の通りご報告いたします。

(1) 法人事業

① 青少年健康センター 理事会開催

i) 第 1 回理事会開催

平成 28 年 5 月 25 日(水)午後 6 時 30 分より青少年健康センター三軒町ビル 101 号室にて平成 28 年度第 1 回理事会が開催されました。総理事 8 名のうち理事 7 名、監事 2 名のご出席により、過半数が認められたため、理事会が成立いたしました。

当日議題として、「平成 28 年度定時総会開催の件」「平成 27 年度事業報告及び決算の承認に関する件」について議論され、満場異議なく承認可決されました。

ii) 第 2 回理事会開催

平成 29 年 3 月 15 日(水)午後 6 時 30 分より青少年健康センター三軒町ビル 205 号室にて平成 28 年度第 2 回理事会が開催されました。数総理事 8 名のうち理事 7 名、監事 1 名のご出席により、過半数が認められたため、理事会が成立いたしました。

当日議題として、「第 1 号議案 平成 29 年度事業計画の件」「第 2 号議案平成 29 年度収支予算の件」について書類を提示し、詳細を説明したところ、満場異議なく承認可決されました。第 3 号議案として「会長および副会長の職務執行報告の件」について会長、副会長から報告されました。

② 青少年健康センター第 3 回 定時総会開催

平成 28 年 6 月 22 日(水)午後 5 時 青少年健康センター三軒町ビル 205 号室にて定時総会を開催されました。総社員数 49 名のうち、出席社員 36 名(委任状出席 26 名)により、過半数が認められたため、総会が成立いたしました。

当日議題として、「平成 27 年度事業報告及び決算の承認に関する件」と報告事項として「平成 28 年度事業計画」について書類を提示し、詳細な説明したところ、満場異議なく承認可決されました。

③ 第 2 回 職員総会 開催

平成 28 年 5 月 6 日(土) 文京シビックセンター28F スカイホールにて、第 2 回職員総会が開催されました。総勢 32 名の役員・職員の皆様にご参加いただきました。本会では平成 28 年度へむけての事業方針・計画を職員一同で共有いたしました。

④ 表彰

平成 28 年 10 月 21 日 第46回毎日社会福祉顕彰*受賞

*福祉の向上に尽くした個人や団体を表彰する毎年開催されている社会福祉顕彰

主催:毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団、後援:厚生労働省、全国社会福祉協議会

(2) 公益事業

平成 28 年度の公益事業における全体の利用実績が 12,175 件(月平均 1014.6 件)にのぼりました。昨年度が 11,897 件(月平均 991.4 件、前年度比 102.3%)であり、公益事業全体として、利用件数が微増という結果になりました。詳細は以下に記載いたします。

① ひきこもり・不登校に対する自立支援

◎心理相談(茗荷谷クラブメンタル部門相談,※公 1 に該当)

総延相談件数 4,036 件(茗荷谷相談*:1,012 件、世田谷相談:2,476 件、訪問相談:34 件、電話:514 件)となりました。昨年度が 3947 件であり、心理相談事業は微増という結果になりました(昨年度比 102.2%)。昨年度より受託した「国士館高等学校および中学校の生徒カウンセリング業務に関する業務委託」では、年間 54 日訪問し国士館学校内の相談室を運営し相談業務を行いました。

*文京区・台東区委託事業も含む

◎居場所事業(茗荷谷クラブ,※公 1 に該当)

茗荷谷クラブおよび世田谷事業における居場所運営においては、3,499 件(茗荷谷居場所:2,465 件*、世田谷居場所:1,043 件)となりました。27 年度実績は茗荷谷のみ実績で 2,090 件であり、375 件(前年度比 117.9%)の増加という結果になりました。世田谷事業では 484 件の減少(前年度比 68.3%)となり、全体では 118 件の減少(前年度比 96.7%)となっております。

この結果の要因としては、茗荷谷クラブでは新たな活動曜日が増えご利用者が参加できる機会が増えたことが挙げられます。世田谷事業の減少については主要なご利用者が社会復帰されたため、参加数が減少したとのこと。現在は新たなご利用者様も増え、参加者は増加傾向にあります。

*文京区・台東区委託事業も含む

◎社会参加支援事業(※公 2 に該当)

全体の総件数は 2,484 件となりました(前年度比 98.2%)。

ボランティア体験、職場体験、ジョブトレーニング等の場を提供し、参加いただいたご利用者様の総延数は 1,833 件でした。昨年度と比較し 143 件の増加となりました(前年度比

108.5%)。また社会参加への準備を実施する「社会参加準備グループ」には延利用者数 132 件(前年度比 110.0%)でした。クラブ以外の外部交流のきっかけを提供する「演劇活動」「サッカークラブ活動」には延 519 件(前年度比 72.1%)となりました。

② ひきこもり等生きづらさを抱える若者に関する知識の普及啓発を目的とする事業

◎思春期カウンセリング講座(※公 3 に該当)

講座名		講師名	実施回数
基礎講座	基礎	藤堂宗継 (山崎病院)	計15回
「ひきこもり」を考える	理論	藤堂宗継 (山崎病院)	計3回
ひきこもり家族のライフプラン4	理論	村井英一・畠中雅子 (ファイナンシャルプランナー)	計2回
最近のうつ事情について再考する	特別	吉野聡・宇佐見和哉 (新宿ゲートウェイクリニック)	計2回
現代のネット依存	特別	中山秀紀 (久里浜医療センター)	計1回
児童期・青年期のメンタルヘルス	理論	山登敬之 (東京えびすさまクリニック)	計3回

昨年度で実施された思春期カウンセリング講座は計 6 講座(計 26 回)が開催され、延参加件数は 226 件となりました。27 年度実績が 239 件(6 講座、計 29 回)でありました。これを比較すると、28 年度が 1 講座あたりの参加者は約 8.7 名に対し、27 年度は1講座あたり約 8.2 名となり若干の微増という結果になりました。

◎実践的「ひきこもり対策」講座(※公 4 に該当)

講座名		会場	日付
AM	PM		
家族会	家族会	林野会館	4月16日
家族会	家族会	東京セミナー学院	5月21日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	6月19日
理論編	家族会	文京区民センター	7月16日
家族会	家族会	アカデミー茗台	9月25日
理論編	家族会	文京区民センター	10月15日
家族会	家族会	アカデミー茗台	11月13日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	12月4日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	1月22日
理論編	家族会	文京シビックセンター	2月18日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	3月19日

当法人参与である精神科医齋藤環氏(筑波大学教授)を中心に原則月に一回行われ、昨年度は計 11 回開催し、461 名の方のご利用がありました。27 年度では 10 回開催、年間 385 名の参加でした。1 回あたりの平均で比較すると、28 年度が 41.9 名、27 年度が 35.0 名の参加ということになり、1 回あたり 7 名ほど参加者が増えたという結果になりました(27 年度比 119.7%)。

◎講演会・シンポジウム(※公 4 に該当)

講演会名	講師名	実施回数
オープンダイアログ ～日本での展開～	ヤーコ・セイックラ (ユバスキュラ大学) 齋藤環 (筑波大 教授) 信田さよ子 (原宿カウンセリングセンター 所長) 向谷地生良 (北海道医療大 教授)	計1回

平成 28 年 10 月 15 日に池袋 東京総合美容専門学校においてシンポジウムを開催いたしました。当日は 280 名の方にご来聴いただきました。27 年度では 233 名であったことを鑑みると、47 名の増加(27 年度比 120.2%)という結果になりました。

◎オープンダイアログネットワークジャパン運営委託

講演会名	講師名	実施日
オープンダイアログワークショップ	ヤーコ・セイックラ (ユバスキュラ大学) トム・アンキル (ヘルシンキ大学) 齋藤環 (筑波大学)	5月13 ～15日

平成 28 年 5 月 13～15 日 渋谷フォーラムエイトにて、オープンダイアログの理論的指導者であるヤーコ・セイックラ氏、トム・アンキル氏をお招きし、3 日間のオープンダイアログワークショップの運営を実施いたしました。(総来場者数 265 名)

② クリニック絆(※公 5 に該当)

昨年度で 5 年目を経過したクリニック絆の総相談件数は 1,092 件にのぼりました。昨年度が 943 件であり、年間通じ 149 件の増加がありました(前年度比 115.8%)。これで 5 年連続の増加となっております。

以上、平成 28 年度事業報告をさせていただきました。全体の利用数から見ても、昨年度より利用実績が増えており、ご利用者様が求めている事業を行えていたのではないかと考えております。これに慢心することなく、安定した各公益事業の実施、より社会に求められる事業運営を行ってまいります。職員全体で力を合わせて社業に注力する所存です。どうぞなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上